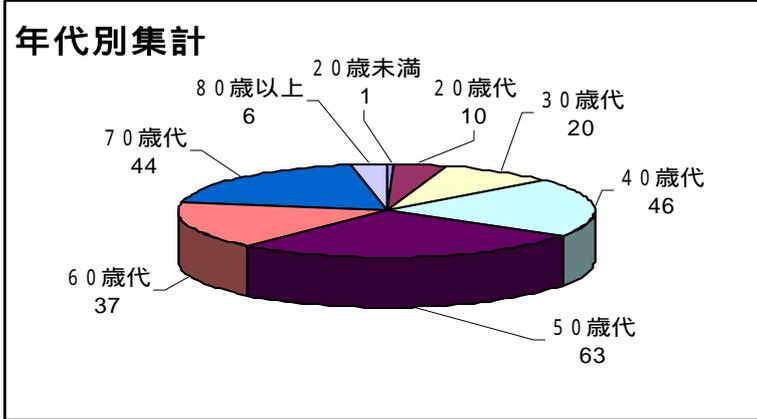


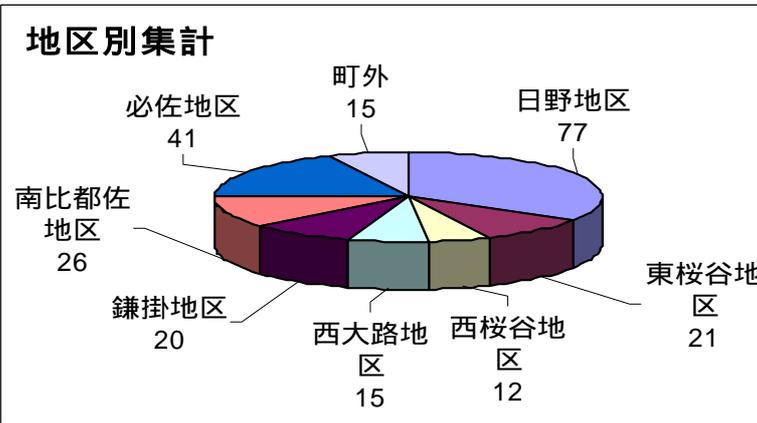
# 「日野町自律のまちづくり住民シンポジウム」参加票・アンケート 集計結果

去る、11月8日に開催しました、「日野町自律のまちづくり住民シンポジウム」でご提出いただきました、参加票とアンケートの集計結果をお知らせします。

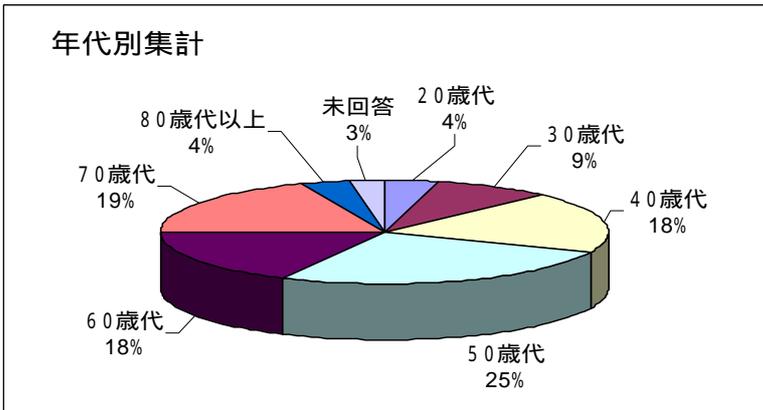
## \* 参加票集計総数 227枚



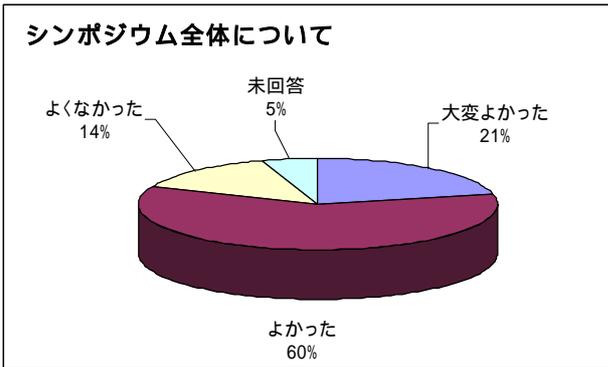
男	女
157	70



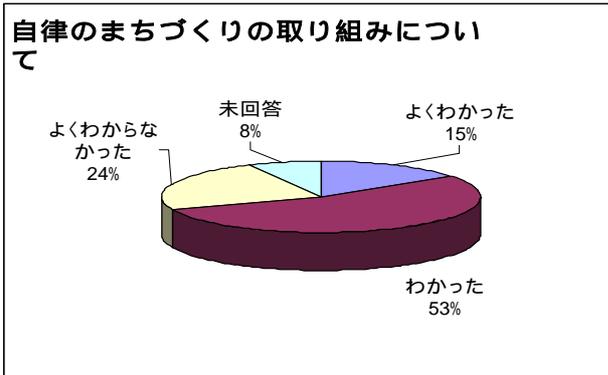
## \* アンケート集計総数 80枚



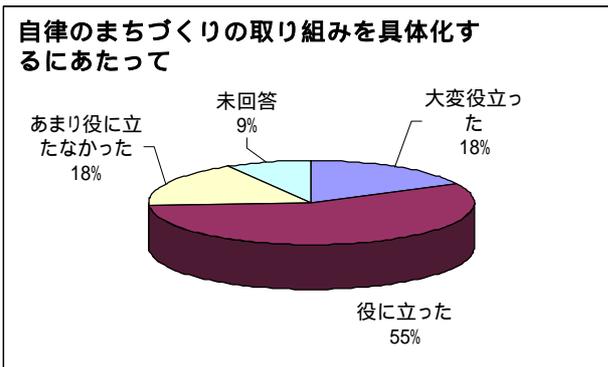
20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	未回答
3	7	15	21	14	15	3	2



シンポジウム全体について			
大変よかった	よかった	よくなかった	未回答
17	48	11	4



自律のまちづくりの取り組みについて			
よくわかった	わかった	よくわからなかった	未回答
12	43	19	6



自律のまちづくりの取り組みを具体化するにあたって			
大変役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	未回答
14	45	14	7

## アンケート意見欄から

もっと話し合いの場や意見交換の場を・・・

\* 今回のシンポジウムのような住民討論会を年に何回か開催するようにはどうか。いろんな人たちがパネラーとして発言することは良い。(50代 男性)

\* 自律のまちづくり計画案について具体的内容が分かりにくいと地域住民は感じていると思う。今回のシンポジウムには、各種団体の者が多数参加したのみと思える。地域に入って住民との意見交換が必要と考える。(60代 男性)

\* シンポジウムについて、取り組みをされていることは分かったが、自律しているように思えない。自律の基本が解決されていない。自律の内容がはっきりしない。自律の具体策が出てくる委員会が必要。(50代 男性)

\* 今日のシンポジウムをきっかけに定期的なシンポジウムを開催してほしい。町民の関心をひろげるためにも。日野町7ブロックで開催すると関心も高まり意見も出ると思う。(60代 男性)

\* 一般のすべての人がこのシンポジウムに参加できる機会を作ってほしい。( 60代 女性)

\* 合併ができなかった、自律のまちづくりをせねば仕方ない。度々話し合える日野町にしていこう。( 70代 男性)

\* 一般町民対象に分科会等で意見を聴集する。長い時間をかけて自律のまちづくりに取り組むことが必要。今すぐにはできない。( 60代 男性)

\* 今後自律のまちづくりを实践する自治会や団体の事例発表の機会が必要になってくると感じました。( 40代 男性)

\* これからのまちづくりの中で具体的な課題が見えてくると思いますので、このようなシンポジウムを課題別に取り組んでいくことが住民には分かりやすいまちづくりが考えられると思います。( 50代 女性)

### 私にできることから・・・

\* 財政があってもなくても自分にできることは、自分です。そのことに生きがいを見出すことは、人として生きるうえで当然のことと考えます。今日お聞きした皆さんの思いが大きく広がることを期待します。一人ひとりの思いが活かされ、幸せを感じながら生きていけるまちづくりのために小さな事から始めたいと思います。誰かの力にもなりたいと思います。( 50代 女性)

\* 大変よく集まれた一人ひとりの願いが、自律への意欲、参加にあらわれたのだと思います。何らかの役にたたせてもらいたい。( 50代 男性)

\* 問われるのは、私自身だということを感じましたし、みなさんも感じられたのではないかと思います。そのことへの気概と高揚の気分がまちづくりの原動力かなと思います。人と人との関係を復興していく中で一人もその網の目からこぼれ落ちることがないように、細心の注意をみんながはらいたいものです。( 50代 女性)

\* 個人でできない事は地域です。その後行政です。情報を知ること。人づくりを考える。空気作りも考える。行政だけに頼ることなく地域社会の中に生きていく。( 80代 男性)

\* 各階層の切磋琢磨はもちろんであるが、横のつながりをもっと深めたらどうか。( 60代・男性)

\* 10年20年たっても同じ話をしていることのないように。まさにそのとおりだと思う。地域の中で自分に何ができるか小さなことでもよいのでかわる術を皆が見つけられればと感じます。( 40代 男性)

\* 私にもできることがあるかもしれない。やらねばわからない。皆が寄れば大きくなる。参画してやりたい。( 70代 女性)

\* まだまだ出発点。しかし町内には、その素材がたくさんあることも知った。理屈は、抜きにして自分のこと以外に費やすことが村の中であれば人のこと、その人が考えていることがわかって自分にはないものを発見できる。それこそがまちづくりの楽しみだと感じます。( 30代 男性)

\* 自助、公助10年後、よい町に少しでも近づいている様に自分にできることを仲間と共に。( 50代 女性)

## こんなまちづくりを・・・

\* 合併しなくて財政面で大変だから小さな地域でなんでもやりなさいという理由の自律のまちづくりという声をよく聞きます。私も少しはそう思っていました。しかし、今日の皆さんのお話の中私たちの町、字、地域で住みやすい楽しいところにしようということを考えて近隣の部落でも活発に取り組んでおられます。福祉会でも各字で活動の差があります。どんどん自律の意味をアピールして小さな輪になることを望みます(50代 女性)

\* 若者の定着。日野菜の拡大。人と人との関わり方の大切さ。昔から3割自治と言われましたが、現在はどうか。近江しゃもの活用。(70代 男性)

\* 日野菜を全国的に作り、町のブランドとする提案は良いと思う。私のふるさとの味ですといつまでもお土産として町外へ持っていけるようになったらうれしい。日野菜は昔からあるものだし“日野”と町名がついていて全国的に有名なものだから。町外の人に知ってもらい「おいしい」と言ってもらえたら、ふるさとの自慢になるし、日野を誇りに思う。(20代 女性)

\* やはり若い人たちが出て行かない、住みやすいまちづくりが必要かと思います。(50代 男性)

\* 教育問題について課題があることは、どの教育関係団体の方々も同じことを言われています。そこで、会場からの意見が出ましたことに賛同する意見ですが、横のつながりをもって、教育に関して今何をしないとえらいことになるということを追求め、対策を団体と共同で取り組むことを考えてください。(50代 男性)

\* 参加者の年齢が高い。もっと30代～50代の人に関心をもてるようにお願いします。自律のまちづくりプラス町全体で収益が上がる事を考えるべきで若者が定着、生活できる町作りが必要です。(40代 男性)

\* 日野町在住の独身男性が多いのではないかと思います。全国的傾向かとは思いますが、若者たちの出逢いの場などつづけてあげればいかなと思います。安心してすめる日野町にとの思いです。(70代 女性)

\* 夜分の開催なのに、多くの人に参加されたことは、大変よかったと思います。有権者の7000人以上の人が選択した道をみんなで手を取りあい小さくてもキラリと光る町づくりをしていきましょう。(40代 女性)

\* 字、町内会単位の自律が必要だと思います。まず、子どもから老人会にいたるまでみんながめざめること。昔の隣組の復活をしてはどうか。人間関係が悪くなっている。(70代 男性)

\* 町の宝である子どもたちは、将来を担う大切な存在です。その子どもを町が責任をもって育てるという姿勢を示してほしい。町財政が大変なのは、十分理解しているが現在いる子どもたちを責任をもって育てるという思いを持ってほしい。自律のまちづくりをしていく若い人の参加がもっと多かったらよかった。関心が薄いように思う。その分年配者の方の力が必要なのだと思う。その力を継承されると良いと思う。(40代 女性)

\* 宗野先生の話をもう少し聞きたかった。持続発展可能なまちづくりを考えると昔の自給自足の精神を見直す必要があるのではないかと思います。買い物や外食も日野町内でするなど消費も日野町内でする方がよいのではないかと。グリーンツーリズムの研究と実践をしてはどうか。ないものねだりよりあるもの探しをする。(40代 男性)

\* 教育分野の改革や教育と地域のつながりが大切だと感じた。まちづくりは、人づくりが基本であり、これからの日野町や日本を担う子どもたちへの教育は重要である。地域での子育て学校での子育て、家庭での子育てなどさまざまな分野での子育ての連携を行いよりよい町の教育ができればいいと思う。(30代 男性)

\* パネラーの話が多すぎた。会場の参加者の意見もよいものが多い。もっと聞きたかった。まだこれからの話かもしれないが、具体的なイメージがもてなかった。何か魅力のあることが作れないか。ごみ減量が書かれているが、環境の取り組みで「菜の花プロジェクト」が各地で取り組まれているが、春に休耕田が全部黄色に色づくなどの取り組みは、先進性ではなくても圧倒的な規模をめざすなど。(40代 男性)

\* パネラー個々の意見がそれぞれ強く、今回のテーマから少し外れているように感じた。まず集落においてどのくらい実践できるかを考える時まったく無理なことではないと思う。それぞれの意見は各集落に直轄することであり、それができればそれを広げていく。簡単なようで難しいだろう。(40代 男性)

## 今回シンポジウムについて・・・

\* 多くの参加があったのは、関心の高いテーマがあるからだと思いますが、こんな町を作りたいという狙いははっきりしていなかった。型どおりに進めていくことが大切ではあるが、形式に流されてはいないか。目的をはっきりして取り組んでもらい(シンポの進め方) まちづくりをどうするのかという説明を明確に行う。そのことに対して参加者から意見を聞く。この段階までくれば役場はまずこう変わる予定だとはっきり明言して欲しかった。そして、地域にはこうして欲しいとはっきり要望をして欲しかった。(60代 男性)

\* 各パネラーの方々がそれぞれの分野・立場で取り組みと提言がされて大変良かった。より深く期待して再度開催を希望します。日野町出身で野口暢子さんが地方自治を研究されています。こういった場所に招請してはどうか。(60代 男性)

\* 具体的な例を出してもらう方が、イメージしやすいと思う。発言の中でいくつか具体的な取り組みや考え方が聞けたが、もっとたくさんあった方が良い。(40代 女性)

\* 青年団も少数でもがんばって活動しておられるようで頼もしく思いました。(40代 女性)

\* パネルディスカッションでは、個人の主張が強すぎ本題のまちづくりへの提言等が少なく残念。もう少しテーマを統一してもよかったのでは。(30代 男性)

\* みなさんいいこと言うじゃないですか。でもいなかのおじさんの頭は、かたいよ。それに新しいことは、何もしたがない。百姓は地についたと言えよいがよほどでないとは動かない。(50代 男性)

\* 自律のまちづくりとは何か。まったく理解できない。いったい何が言いたいのか。参加された200人の人の心に今日のシンポで何が残ったと思いますか。なぜ何をなんのためにどうしていくのか。理解できた人がいると思っていますか。(40代 男性)

\* 助教授の話が残念ながら、私には抽象的で次のパネルディスカッションにつながらなかった。いろいろな団体からパネラーとして参加するので、それぞれの話になりまとめるのは難しいと感じました。青年団の会長の話は、自分が思っていた青年団とは違い、社会とのつながりや青年団の地域の役割などしっかりした考えをもっておられ、今後の青年団活動に期待を持ちました。(20代 女性)

\* 米沢藩の上杉鷹山のお話がよかった。宗野さんのお話からは日野町のことを考えた時あまりヒントが得られなかったが、1/23000の知恵を出し合おうという言葉には賛成(50代 女性)

\* 青年団の福永さんの発言は、光っていた。まちづくりは人づくりだ。地域共同体の再生。先生が教育の分野の話を書かれた方の意見にうなずけた。合併せず町として残れたことは、「人と人との顔が見える」このことのできる可能性が残されたことだと思う。(40代 女性)

\*たくさんの人の参加と熱心な発言もあり、いい機会であったと思います。日野町民一人ひとりが強い意識を持つことが何より大切な事だと思います。(女性)

\*もう少しテーマを絞った方がよいかも。環境を汚さないまちづくりはできないか。人件費を減らす努力よりワークシェアの発想はないのか。かかわる人の数を増やしていく努力も必要かと思う。(50代 男性)

\*パネラーの意見が計画案と離れており、総花的な発表であったので、実感としてわいてこない。会場からの意見を多く聞いてパネラーとのやりとりを中心にした方がよいのではないかと。(40代 男性)

\*シンポジウムの意味を感じられなかった。「自律のまちづくり」はまだまだ闇の中、あきらめずやりつづけましょう。(30代 男性)

\*いろんな分野で活躍されているパネリストの方々の話をとても興味深く聞かせていただきましたが、個々の時間が短かったようで残念でした。(30代 女性)

\*寺澤さんの話がよかった(60代 女性)

\*連合青年会の福永さんの力強い言葉に頼もしさを感じました。若い人たちがこのようにどんどんまちづくりに参加されると町により活気がでてくると思います。一般からの提案で私も同様に子ども子育てにもっともっと焦点をあててもらいたいと思いました。別冊の課題事項にあるような教育環境の整備充実は、早急にしないと手遅れになります。加えて障害者教育も今後の課題となると思います。(30代 女性)

\*青年団代表の福永さんの意見にキラリと光るものがありました。今までにない新鮮さを感じました。若者の代表としてよく考えておられることについて、本当に心強く思いました。今後若い世代の意見を聞く場所を幅広くもっていただくことは大切だと思いました。会場の意見にもありましたようなまちづくりは人づくりということと子どもを育てる大事さ、教育現場の先生方の意見を聞ける場所を是非お願いします。(60代 女性)

\*抽象論だけで物事を解決させる方法は、聞きあきました。小さなことでもいいので、具体的な行動を起こす必要があると思います。きれいごとばかりの御託を並べて物事を決定していくと無理が必ず発生します。そしてほころびが次第に大きくなり破綻するのが目に見えています。(50代 男性)

\*退職して2年 300Mの川の土手の草刈(年4回)と畑がお宮さんの裏にあるため少し時間があると、お宮さんの林を掃除してきました。パネラーから「あなたは国家に何ができるのか」というケネディの話で気分的な整理ができました。公民館政府に多いに関心を持ちました。行政の窓口が近くになることと、公民館もそれぞれの地区の店から物を購入したり、利用してもらえば地域公民館政府はよい案だと思う。(60代 男性)

\*それぞれのパネラーの方の特色あるお話を聞かせていただいてその努力や意欲に感激しました。今日のお話を出発点として、いよいよまちづくりが進展していくことを希望します。今日のようないい会をしていただいてありがとうございました。(80代 男性)

\*日野町の家族経営の(農家)の将来をどうするのか。不安です。(70代 男性)

\*パネリスト各氏のユニークな考えを發表され、参考になった。具体的な内容もあり、これからのまちづくりに生かしていきたい。特に女性として婦人会さんの活動に共感を覚えました。行政も協力していただき、リサイクルなどよりよい環境づくりをしたい。役場にあれこれしてと要求ばかりするのでなく、まず地域でどうしようかと考えなければならない。日野地区はこの点少し遅れている気がします。なんとかしたい。(60代 女性)